

「令和5年度 第3回 人と動物との共生推進よこはま協議会」会議録

日 時	令和6年3月8日（金）午後2時00分から午後3時00分まで
開催場所	横浜市役所 18階共用会議室
出席者	溝呂木啓之、伊東綾子、大久保芳樹、田中数馬、加藤精二、山田佐代子、中畑嗣也、赤澤暁昌、久世明香、伊藤琢也、田代さとみ、富高恵子（順不同）
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者0名）
議 題	1 令和6年度横浜市動物愛護管理業務計画（案）について 2 令和6年度横浜市動物適正飼育推進員の研修計画（案）について
決定事項	議題1 令和6年度横浜市動物愛護管理業務を案に沿って実施すること。 議題2 令和6年度横浜市動物適正飼育推進員の研修計画を案に沿って実施すること。
資 料	1 次第 2 令和6年度横浜市動物愛護管理業務計画（案）（資料1） 3 令和6年度横浜市動物適正飼育推進員の研修計画（案）について（資料2） 4 令和5年度 横浜市動物適正飼育推進員研修の実施報告（資料3）
議 事	<p>議題1 令和6年度横浜市動物愛護管理業務計画（案）について</p> <p>事務局 資料1に沿って説明。</p> <p>事前に田中委員から、災害時のペット対策ガイドラインの表現（体制図）と業務計画の表現（体系図）の違い及び体系図の表記等についてご指摘をいただいた。ご指摘のとおり、表記内容を改善、修正する。</p> <p>（質疑・意見）</p> <p>山田委員 地域猫活動中、活動場所の住宅管理会社から捕獲等を制限されることがあるため、行政支援として不妊去勢手術の必要性の周知を進めてほしい。</p> <p>事務局 事例を踏まえ、対応を検討する。</p> <p>山田委員 不妊去勢手術推進事業について、多頭飼育等の事情がある場合には飼い主のいる猫も対象に含めることを検討してほしい。</p> <p>事務局 飼い主がいる猫については飼い主自身が適正飼育に努めることが責務である。不妊去勢手術推進事業は、飼い主のいない猫を減らす推進事業である。多頭飼育問題については、ご意見を踏まえて検討を進める。</p> <p>山田委員 補助金関係にもホームページにリンクする二次元コードを入れてほしい。</p> <p>事務局 貴見のとおり修正する。</p> <p>伊東委員 犬が散歩中に排尿した際、水をかけるだけの人が多い。ペットシートでふき取る等の適切な処理を周知してほしい。</p> <p>事務局 現在、啓発チラシや当センターホームページにおいて、糞尿の適切な処理について周知を図っている。今後も啓発を進める。</p>

久世委員 事務局	動物の適正“飼育”と“飼養”の使い分けの定義はあるのか。 行政内では動愛法に合わせ“飼養”を使っているが、一般の方への理解をふまえ、ホームページ等では馴染みのある“飼育”を使うことが多い。
山田委員 事務局	動物適正飼育推進員について、犬担当はどのような内容で活動しているのか。 猫担当に比べて人数は少ないが、狂犬病予防注射集合注射会場における啓発や、飼い主に対するしつけのアドバイス、飼えなくなった犬の譲渡支援等、区からの依頼に基づき活動していただいている。
久世委員 事務局	動物取扱業について、法改正に伴い数値基準ができてから監視等において変化はあったか。 ケージ等の基準に合わない事業者に対しては丁寧に指導を行い、ケージの大きさの変更や、取扱頭数を減らす等の対処を促している。従業員の員数規定や繁殖回数については、本市には大規模な事業所が少ないため、基準の超過事例はほとんどない。責任者要件については、資格取得や実務経験について継続して指導している。
田代委員 事務局	動物取扱責任者研修の受講率はどのくらいか。未受講者にはどのような対応をとるのか。 今年度の受講率については現在集計中。未受講者に対しては個別指導を実施。
議題1について承認。	
議題2 令和6年度横浜市動物適正飼育推進員の研修計画（案）について	
事務局	資料2に沿って説明。 (質疑・意見)
山田委員 事務局	研修項目は、どのように決めていくのか。 推進員のアンケートなども参考にして事務局で選定し、協議会に諮り決定している。
議題2について承認。	
事務局からの報告 令和5年度 横浜市動物適正飼育推進員研修の実施報告	
事務局	資料3に沿って説明。
閉会	